

全国フォーラムin東京

地域間連携事業成果報告

地域間の連携を活かそう —地域間連携事業の成果とその活用方策

地域間連携のイノベーションが企業の成長・発展を加速させる手段として、注目されている。地域の枠を越え、優れた取り組みを普及させるモデル化の試みが必要だ。日本立地センターと全国イノベーション推進機関ネットワークは、3月1日に東京・日暮里の日暮里サニーホールで「全国フォーラム in 東京 地域間連携事業成果報告会」を開催した。イノベーション創出の意義や産業支援の事例紹介、実際に発生した課題や解決方法などを共有し、参加者はそれぞれの地域で実行するために熱心に耳を傾けた。

来賓あいさつ

荒川区長
特別区長会会長
西川 太一郎氏

来賓あいさつ



安倍政権は3つの矢として大胆な金融緩和、機動的な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略を掲げている。成長戦略への取り組みなどして、地域活性化は重要な課題となっている。成功した取り組みを学んでいくことが有益だ。

開会あいさつ

日本立地センター理事長
鈴木 孝男氏

本経済の重生に向けた取り組みの中で、地域振興・活性化は重要なファクターとなる。地域が持つ魅力をアピールし、地域活性化を図っていくことが必要である。今回のフォーラムで発表されるこの一年間の地域間連携事業の成果をぜひ、各地域の経済産業省議員によると地域活性化に活用してほしい。

平成24年度地域間連携事業の成果報告とミニ・パネルディスカッション

地域間連携による地域ブランド認証システム構築モデル

成果報告2

東京都荒川区では2012年に「荒川区新製品・新技术大賞」を創設した。中小企業の優れた技術・製品を表彰して、経営力強化の支援を行う。今後もビジネスプラットフォームなどに積極的に取り組み、産業振興を間接なく進める。

この制度では、消費者が食品の機能性と安全性を認識でき、根拠のない宣伝による健康被害の排

除され、その上に文明が

資源に乏しい日本は、

それが、その上に文明が

それが、その上に文明が